

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	コンビニ（店長）	・株価が上がり、給料も上がってくる。コンビニの商材は高い物もあるが、客は変わらずに来店すると思うので、景気は良くなる。
	◎	観光型ホテル（経営者）	・もう少し円安が収まり、減税施策を充実し、賃上げに持続性がみられれば、景気も良くなっていく。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・これから暖かくなるので、飲料品関係の販売が増える。
	○	スーパー（総務担当）	・円安傾向や賃上げの効果も出て、やや良くなる。
	○	衣料品専門店（統括）	・今年も例年のように、年初めの2～3月は、なかなか人の動きも悪く、販売に結び付かないことが多い。これから暖かくなると、客の動きも活発になり、いろいろな行事が始まるため、商材も動き出すのではないかと期待している。
	○	衣料品専門店（販売担当）	・客が手土産を持って来店してくれるようになったというのは、若干好転していく兆しではないか。雰囲気も何となく明るさが増してきたため、幾らかは良くなるという希望的観測を含めての回答である。
	○	家電量販店（店員）	・商材の値上げと、猛暑であればエアコンが好調となるとみている。
	○	乗用車販売店（経営者）	・当地域における自動車メーカーの生産量の逡増化と、大規模小売店の増床による購買意欲の活性化があいまって進むとみている。
	○	乗用車販売店（経営者）	・株価が高水準で維持している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・受注残もあり、車両登録や売上も続いている。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・新年度の始まりや天候も暖かくなっていくことで、更に人出が増えるのではないかとみている。
	○	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・飲食業だが、求人が少しずつ集まってきて、人手不足が補えている。今回、パート、正社員の賃金ベースアップができたことによるものだとみている。秋口に値上がり分を価格転嫁したが、今後もまた価格は上がると伝えており、値上げは認知されている。今回は個人消費が上向いているため、値上げせずとも、このままでいけば、社員のやる気も上がり、接客もうまくできると思うので、景気は良くなる。
	○	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新年度からの新規受託先は、好調に獲得できている。人材確保が厳しいため、競合他社は新規取引先の獲得にやや及び腰になっているとみられる。コストは高止まりしているため、新年度からの取引条件で再度の引上げをどの程度受け入れてもらえるかによって、業況が変わってくる。
	○	都市型ホテル（経営者）	・レストラン、外食部門の客が着実に戻っている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・新年度を迎え、歓送迎会や各種団体の会合等、コンスタントに獲得できており、前年比でも105%程度と好調である。宿泊はまだ動き出しが鈍く、前年比95%程度ではあるものの、直近での予約が増えきており、最終的には前年実績は超えそうな気配である。料飲部門、レストラン部門はコンスタントにランチ予約も入っており、ほぼ前年並みである。バスを利用した募集型旅行でのランチストップ等も受注し、個人消費が動き出しているのを感じている。
	○	旅行代理店（経営者）	・単価が上がっているが、人手不足が深刻なので、良くなるとまでは至らず、やや良くなる。
○	旅行代理店（所長）	・引き続き、外国人来訪者数は順調な伸びが期待できる。また、社寺の催事やその他イベント等も、完全に新型コロナウイルス感染症発生前同様に復活しているため、日本人来訪者数の伸びにも期待したい。	
○	旅行代理店（従業員）	・物価が上がり、旅行代金以外のオプション分への支出が増えているため、旅行代金総額が増えており、やや良くなる。	
○	テーマパーク（職員）	・卒業旅行や一般団体旅行等が少しずつ増加しており、温暖な天候になれば、来園者の増加も期待できる。	
○	ゴルフ場（従業員）	・ハイシーズンになることやコンペの需要が戻りつつあることから、やや良くなる。	

○	設計事務所（所長）	・新年度を迎え、更に新しい動きがあるとみられる。
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・政府による補助金の打ち切りの話が出ている。物価の上昇も続いている。元気の出る要素がなかなか見当たらない。このまま現状維持でいくのではないかと。
□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・前月に続き、新型コロナウイルス感染症発生前の売上を超える月となっており、この傾向は今後も維持されるとみている。周辺のコレクターも同様の見解である。懸案事項としては、人手不足と海外情勢の不安定さ、能登半島地震に伴う自粛ムードが挙げられる。
□	百貨店（営業担当）	・株高や賃上げの報道が多くなっているが、個人消費にプラスになっているとは感じられない。来客数の伸長率に比し、売上が低いことから、慎重な消費行動は継続するとみている。
□	百貨店（営業担当）	・やや悪いままで推移しそうである。円安が続き、地方まではなかなか届かない賃金上昇等、プラスに転じる要素は少ない。特に、当店は地方のなかでも更に中心地から離れた立地であることから、厳しい商環境が続く。
□	コンビニ（経営者）	・店舗前の道路工事の影響で来客数の前年割れが続いていたが、一旦3月25日に終了したため、今後の交通量の増加に期待したいところである。また、景気の上振れ感が出てきたようで、それにも期待したい。
□	コンビニ（店長）	・近隣圏内のスーパーが営業時間を若干短縮したため、客の流れが良い方向に振れていたが、今後は同じように推移するため、変わらない。
□	家電量販店（店長）	・商品単価の上昇が落ち着いてきているが、数量が増加に向かうほどの大きな需要増加には至っていない。
□	家電量販店（営業担当）	・年度末で消耗品等での予算消化の動きは良い状況で、前年比110%で推移している。電気代の高騰で、省エネ家電の動き、問合せが増えている。全体では前年比103%と改善はしている。
□	自動車備品販売店（経営者）	・購買力が上がるとかムードが高まっていくという雰囲気は身の回りでは感じられない。株高は上がっているものの、実生活が伴っていないのか、財布のひもがやや固くなっている。
□	住関連専門店（店長）	・値上げは継続し、ベースアップを行っているのは限られた企業のみであるため、このような状態では景気回復は期待できない。
□	住関連専門店（仕入担当）	・今年の3月はカレンダーの日並びで土日が多かったという後押しもあり、結果的に前年を上回る売上となった。その反動もあり4月の動向は読みにくいが、節約志向という傾向は変わらない。
□	その他専門店（総務担当）	・大型工事物件がないので、変わらない。
□	旅行代理店（営業担当）	・春闘でベースアップの話は出ているが、賃上げ分はまず生活必需品に反映され、旅行のような娯楽への反映は後回しになるため、変わらない。
□	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くない。この先も変わらない。
□	通信会社（社員）	・大手による強引な地域参入により、将来的に悪くなる可能性を感じている。
□	通信会社（営業担当）	・海外の影響が根本的に変わらない限りは物価高が続き、食品関連の値上げが続くことで家計への打撃も続く。
□	通信会社（局長）	・円安の状況で、原価高騰のあおりで価格転嫁されている部分もあり、物価高と給与の伸び率が比例していないため、まだ上向きになることはない。
□	競輪場（職員）	・スマートフォンによるインターネット投票が売上をけん引しているが、施設に来場して投票する客は増加していないため、変わらない。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・長いトンネルを抜ける材料がない。
□	住宅販売会社（経営者）	・物価に連動して賃料が上がればよいが、まだ賃料改定までは及ばない。地価も横ばいで、経費の物価上昇分をどう転嫁すればよいのだろうか。人件費も上げられない状況下にある。
□	住宅販売会社（経営者）	・街中の動きがほとんどみられないので、不動産に対する動きは活発ではない。良くなるとは思っていない。

	□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・建築資材の高騰に加え、時間外労働の上限規制の猶予が終了する2024年問題による労務費の上昇が見込まれる。取引先の業況にもよるが受注に結び付けるのは容易ではないと考えている。
	▲	商店街（代表者）	・取引業者の破産手続の連絡があり、業界の先行きは暗い。
	▲	スーパー（商品部担当）	・現状より良くなる話題が見つからない。引き続き、イベントや価格訴求において集客増を試みながら、現状維持できればと考えている。
	▲	一般レストラン（経営者）	・中小企業や地方で賃金が上がらない間は、外食も控えるだろう。物価高に加えて金利が上がるかもしれないので、財布のひもは固くなる一方である。
	▲	タクシー運転手	・地方で景気が良くなるのは、まだまだ先のような気がしている。
	▲	通信会社（総務担当）	・客は年金生活者も多いため、更なる物価上昇により購買意欲がそがれるとみている。
	▲	ゴルフ練習場（経営者）	・物価上昇により、消費が冷え込む。
	▲	美容室（経営者）	・春闘等における大手企業の賃上げの話題を聞くたびに、中小企業の賃上げでは労使どちらも嫌な気分させられそうである。地方では倒産、破産が増えている印象を受ける。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・4月からの値上げに客はとても敏感である。収入が上がらない状況でここまで景気が悪くなっているのであれば、中小の商店は厳しい。
	×	通信会社（経営者）	・円安で仕入価格の高騰が止まらないにもかかわらず、販売価格は競争が激しいため、思うようには上げられないのが現実である。一部の大手輸出関連企業ばかりが円安の恩恵を受け、その陰で多くの中小企業が苦しんでいる。そろそろ為替介入すべきではないか。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	金属製品製造業（経営者）	・取引先の生産計画によると、やや良くなる。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・生産調整が終了し、多少ではあるものの、仕事は動き出す見込みである。
	○	金融業（営業担当）	・一部企業では業況改善がみられるが、全体的には横ばいとなっている。
	○	司法書士	・相続登記が義務化されたので、その分はやはり増えてくるのではないかと考えている。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・いろいろな物が値上がりしているの、それほど増えそうには思えない。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・業績はまあまあの状態で、当面は現状が続くのではないか。
	□	金属製品製造業（経営者）	・これから先のことはつかみどころがなく、不明である。仕事が出てくるとよいと思っている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・工業部会の総会に出席した同業の社長10人程度と話す機会があったが、1社を除くほぼ全てで業績が悪くなっている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・2024年度上期は、生産数など変わらずに推移する予定である。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・2～3か月は上がったたり下がったりの状況のため、この先どうなるか、まるで分からない。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高の状況等もまだ続いているため、変わらない。
	□	輸送業（営業担当）	・季節変わりで初夏の夏物家電、エアコンやサーキュレーター、また、夏物寝具なども前年並みの物量は確保できそうである。しかし、2024年4月からのドライバーの残業時間等の規制により、コストは上がる。西日本からのドライバーの高速使用等について、多くは許可をもらったが、物量に対しての車両不足は引き続き発生しそうである。
	□	広告代理店（営業担当）	・広告出稿数が増加するようなトピックは聞こえてこない。
	□	経営コンサルタント	・大手と中小企業間及び業種間の業績格差により、地域経済において好調な企業とそうでない企業との間で、生産活動の活発、不活発が際立ってくる。また、従業員の賃上げ格差の拡大で、消費経済面でも個人差が生まれ、まだら模様が目立ってくるのではないかと。

	□	社会保険労務士	・中小企業は利益が増えているわけではないため、余り賃金は上がらないような気がする。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・特段の変化はみられない。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量が落ちており、客の様子をみても、これから伸びていくような気配は全くない。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・前月、取引先の生産がストップした分の受注は、今月生産することではなくキャンセルになったため、かなり影響が出てくる。今後もどうなるか分からず、とても不安に感じている。
	▲	建設業（総務担当）	・工事量が少な過ぎるため、先行きも怪しさしかない。
	▲	不動産業（管理担当）	・事務所ビルの空室に新規入居が決まらず、退去の話だけが順調に進んでいる。長く借りてくれていた取引先でも、コスト削減で賃貸面積を縮小するか退去を検討するかもしれないという話が出てきている。空室率がまた上がるのではないかと危惧している。
	×	建設業（開発担当）	・今期受注額は10%減少であり、当社決算が心配である。
雇用 関連 (北関東)	◎	人材派遣会社（社員）	・宿泊関係の仕事を抱えている当社の取引業者は、稼働率も非常に高くなっており、売上、利益共に、かなり上昇している。今後、季節的なものもあるが、もっと客の入込が多くなって、それに付随して、我々周辺企業の客も増えていくと見込んでいる。ただし、人手不足が少し心配で、当社はなかなか対応できないかもしれない。
	○	人材派遣会社（管理担当）	・4月から派遣を利用する企業、特にサービス業のオーダーがあるため、やや良くなる。
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	・今後も人材不足により求人数は伸びていき、賃金の上昇も考えられるため、景気の上向きは続く。
	□	人材派遣会社（社員）	・人材確保については苦戦が続く見込みだが、現状のように賃上げに応じる企業が増加すれば、優秀な人材確保につながる。
	□	職業安定所（職員）	・主な産業の新規求人数の前年同月比は、医療福祉分野は増加傾向で推移しているものの、建設業や製造業で、やや減少傾向がみられる。
	▲	人材派遣会社（経営者）	・新年度に向けての準備で、飲食、小売、コンビニ関係、スーパー等での働き方も大分変わってきたかもしれないが、アルバイトの動きが出てくる。また、金利が上がるという前提での行動かと思うが、住宅関連では購買を控えるのか買うのかを迷っている状況がある。ただし、住宅建築等は依然として伸びていく。一概にとはいわないが、先行きはやや厳しいかもしれない。
	×	*	*